



公益社団法人 兵庫工業会
会長 三宅 俊也



兵庫工業会 NEWS

2026年 4 月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.323

価値創造の原点へ 一施策を力に変え、 兵庫の「現場力」を次代へつなぐ — ■ 巻頭言 ■

2026年度の新年度スタートにあたり、会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、依然として続くコスト高騰や深刻な人手不足という厳しい環境下、多大なるご尽力を積み重ねておられることに深く敬意を表します。また、平素より当会の活動に対し多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年開催された大阪・関西万博の閉幕から半年が経過し、先端技術の社会実装が進みつつあります。しかし、目を足元に向ければ、世界的な政策転換や地政学リスクの顕在化など、私たちの「ものづくり」を取り巻く環境は不透明さを増しております。

こうした激動期において、現在、国の方針として「経済安全保障の強化」や「国内投資の促進」が示されております。具体的には、地域の中堅・中小企業の投資を最大50億円規模で支援する「大規模成長投資補助金」や、人手不足を打破するための「省力化投資補助事業」など、事業基盤再構築のための公的支援がかつてない規模で整いつつあります。

当会は、こうした潮流を冷静に見極めつつ、諸施策が会員企業の皆様にとって「使い勝手の良い道具」となるよう、県や市、ならびに国の地方機関といった各関係機関との緊密な意見交換を継続いたします。現場の実情に即した施策運用を働きかけ、皆様の設備投資や事業転換の確かな支えとなるべく、寄り添った支援に邁進してまいります。

本年度、当会は以下の三つの視点を軸に、具体的な事業を展開してまいります。

第一は、「デジタル実装による現場の変革、強靱化」です。先端技術導入は、効率化のみならず、技術流出防止や事業継続性の確保にも直結します。当会の「DX挑戦企業支援」等を通じ、専門家が現場の課題を共に整理し、限られたリソースの中で最適かつ安全なAI等のデジタル活用を提案してまいります。

第二は、「生産基盤の安定と競争力の維持」です。供給網の混乱に対し、外部環境に翻弄されない「負けない現場」を築くことが急務です。当会では、前述の自動化・省エネ投資への大型補助金活用を支援するとともに、国内回帰の動きを捉えた取引機会の創出など、地元の生産基盤を維持・発展させるための環境整備に努めます。

第三は、「次世代を牽引する人材の育成」です。人手不足という最大の課題に対し、当会は「経営者・管理監督者・技術者」の三層それぞれに向けた育成プログラムを推進します。経営の本質を学ぶ「HYOGOものづくりビジネススクール」、組織を動かす力を養う「管理監督者研修」、そして即戦力を育てる「兵庫テクニカルスクール（旧兵庫技術研修大学校）」の三柱を軸に、皆様の貴重な人材が、学び、誇りを持って活躍できる場を支えます。また、大学等の知見も取り入れ、時代に即した教育内容を提供してまいります。

兵庫県には、重工業から伝統産業、スタートアップまで、多様な層の厚さがあります。この多様性こそが不確実な時代を生き抜く武器です。当会は知恵と技術を結集させる「ハブ」として、会員企業の皆様の挑戦を支え続けます。

最後に、「兵庫のものづくりの火を、次代へつなぐ」という使命感を胸に、私たちは新年度の歩みを進めてまいります。いかに環境が厳しくとも、創意工夫を重ねる現場の「知恵」と「人」がある限り、道は必ず拓けると確信しております。

当会は、皆様の最も身近な「良き理解者・伴走者」として、課題解決に共に汗をかき、諸施策の有効活用を通じて、皆様の挑戦を全力で後押ししてまいります。2026年度が、会員の皆様にとって確かな実を結ぶ一年となりますよう、共に邁進してまいりましょう。

新年度も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年度 第3回理事会 ご報告

2026年3月18日(水)、第3回理事会をホテル日航姫路にて開催いたしました。
以下の議案について審議の結果、満場一致で承認され、2025年度第3回理事会は滞りなく終了しました。

議案

- 第1号議案 2026年度事業計画について
- 第2号議案 2026年度収支予算について
- 第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第4号議案 会員の入会について
- 第5号議案 年会費の改定について
- 第6号議案 第67回通常総会について
- その他 2025年度事業の進捗報告ほか

理事会終了後に日本銀行 神戸支店の別所支店長に「最近の金融・経済情勢について」という演題でご講演いただきました。講演会終了後には、別所支店長にもご参加いただき役員交流会を実施いたしました。参加された皆様は活発な交流をされていました。



別所支店長ご講演

第67回通常総会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会 第67回通常総会を、以下の要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。詳細は、別途ご案内させていただきます。

☆開催日時 2026年5月28日(木) 15:30～16:30

☆開催場所 ホテルオークラ神戸

神戸市中央区波止場町2-1 TEL 078 (333) 0111

通常総会に引き続き、講演・会員交流会を開催予定

I 公益目的事業

1 人材育成事業

兵庫テクニカルスクール（旧 兵庫技術研修大学校）を核とした各種研修事業、経営者を対象としたセミナーなどを神戸・姫路教室、その他各地域で実施し、人材育成を支援いたします。加えて各種テーマの研究会を立ち上げ、最新・専門情報の共有化を図ります。

- 兵庫テクニカルスクール（旧 兵庫技術研修大学校）
- 講師派遣型研修（旧 デリバリー研修）
- 研究会
- 管理監督者研修
- 技能検定実技試験

2 産業振興事業

人口減・人口流出、若年層の定着難、理科離れ・理系人材の枯渇、AIの社会実装など、複合的な社会構造の激変に対応すべく、新たな人材創生、エコシステムの検討など、今後の産業振興に資する事業を展開して参ります。

新展開となるSDGsの推進、理系学生によるものづくり企業見学、ものづくり分野での女性活躍促進、産業論文コンクール、創意工夫者表彰等の表彰事業などに取り組んで参ります。

- SDGs推進
- ものづくり分野での女性活躍促進
- 職域における創意工夫者表彰
- 随時事業
- 理系学生によるものづくり企業見学
- 産業論文コンクール
- 神戸市産業功労者表彰

3 シン・ものづくり事業

産業振興事業と歩調を合わせ、より先進的なAI展開、グローバル展開を基軸に置いたものづくり企業のトランスフォーメーション、技術開発に資する事業を展開して参ります。

DX推進、テクノフォーラム、海外展開、海外人材についての各種事業、国内外の先端技術の視察、産官交流の学びの場、行政との意見交換会などに取り組んで参ります。

- DX推進
- ものづくり産官交流支援
- 海外視察研修
- 行政との意見交換会
- 国内技術見学会
- グローバル人材関連
- テクノフォーラム
- 中小企業海外展開支援

4 広報事業

工業会ニュースの定期発行や企業広告の導入、ホームページやメールマガジンを用いた情報発信により、会員の皆様に役立つ情報を提供すべく、更に内容を充実させると共に工業会活動の一層の見える化を図ります。

- 情報発信事業

II 収益事業等（会員交流事業）

兵庫県外の企業や経済団体との交流見学会、会員交流懇親会、ゴルフ大会や兵庫県下の各地域で開催する地域交流会、経営力強化のための研究会、さらには新設する会員訪問・情報交換会などを通じ、会員相互の交流促進のための事業を定例的・継続的に実施いたします。

- くすのき会
- 会員交流見学会
- 地域交流会
- 兵庫工業会女性会（win-win）
- 会員交流懇親会（忘年パーティー）
- ものづくり中小企業経営研究会
- しんゆう会
- 「兵庫工業会」ゴルフ大会
- 会員訪問・情報交換会（新規）

2026年 兵庫技術研修大学校は 「兵庫テクニカルスクール」へ

— 60年の歴史を継承し、未来の人材育成へ新たな一歩 —

1963年の開講以来、地域のものづくりを支えてきた「兵庫技術研修大学校」は、「兵庫テクニカルスクール」として生まれ変わりました。

昨今の製造現場では、機械・電気・制御・デジタル技術が高度に融合し、その基盤となる「数学的思考」や「原理原則の理解」の重要性がこれまで以上に高まっており、これらを学べる場へと進化しました。

■ 会員企業の皆様からの声

兵庫テクニカルスクールは、多くの会員企業の皆様から寄せられた切実なニーズを反映しました。

- ・「採用した人材を育てるため、原理原則から教える基礎教育を徹底したい」
- ・「文系出身者や海外出身者でも、技術に興味を持てるような入り口が欲しい」
- ・「社員の多能工化やリスクリングを加速させる体系的なコースが不可欠だ」

1. 進化したポイント：理論 × 実践のSTEP方式

「難しそう」というイメージを払拭し、誰もが着実にステップアップできる仕組みを構築しました。

- ・「高校数学」から学び直せる基礎教育の強化

理系出身者に限らず、文系出身の方や学び直し層でも、一つひとつの考え方を丁寧に積み上げ、確かな土台を築けるカリキュラムを新設しました。

- ・スキルに応じた体系化（STEP I～IV）

「基礎理論の修得」から「実技実践」、そして「生産性向上」へと段階的に学ぶため、受講者のスキルに応じた最適なコース選択が可能です。

- ・名称とイメージの刷新

受講内容を直感的にイメージしやすい名称に変更。より多くの企業の皆様が活用しやすい、開かれたスクールを目指します。

2. 継承される「良き伝統」：対面指導へのこだわり

進化した一方で、長年高く評価されてきた兵庫技術研修大学校の強みはしっかりと守り抜きます。

- ・経験豊富な講師陣による個別指導

大学、高専の教員、企業OBなど、実戦経験豊かな講師陣が対面で指導。きめ細かな指導を行い、技術を「体得」させます。

- ・業務に直結する厳選カリキュラム

現場で即戦力として役立つ内容のみを厳選。座学と実習を効果的に組み合わせることで、技術への興味を惹きつけ、定着を促します。

詳細・お申し込みについては兵庫工業会ホームページ、または別冊の「受講生募集案内」をご覧ください。

※本件については、4委員会7名の委員から選出されましたワーキンググループメンバー（㈱三和製作所 石井社長、㈱兵庫精密工業所 阿倉社長、㈱福原精機製作所 山田社長、日本ライニング工業㈱ 中川社長、福伸電機㈱ 宮内部長、グローリー㈱ 大河原専門部長、㈱タクミナ 西川課長）による検証・協議を経て実現いたしました。



2025年度 スクール開催時のひとコマ



2026年度兵庫テクニカルスクール 近日開催コースのご案内

神戸
5/8(金)
より開講姫路
6/5(金)
より開講

機械工学コース | 神戸教室/姫路教室

【研修時間】9:00～17:00

- 神戸教室では、企業に求められる機械系科目に特化した中期コースを開講し、神戸大学の教授/准教授/助教が担当します。姫路教室では、4力学および材料特性を学び、兵庫県立大学の教授/准教授が担当します。

神戸教室 研修時間：5日間・計35時間

No.	日付	科目	内容
1	5/8(金)	熱工学	熱機関とエネルギー変換、熱力学の基本法則
2	5/13(水)	機械力学	振動解析の基礎、振動の少ない機械設計
3	5/21(木)	流体力学	流体応用機器設計に必要な基礎知識
4	5/28(木)	材料力学	部材応力・変形量の近似評価、棒の応力計算
5	6/2(火)	機械材料	応力-ひずみ関係、材料特性と熱処理の影響

●定員：20名 ●受講料会員企業：66,000円 ※税・テキスト代込み

姫路教室 スタンダード (No.1～No.5・計35時間)、エキスパート (No.1～No.8・計56時間)

No.	日付	科目	内容	
スタンダード 6/5 7/3	エキスパート 6/5 7/24	1	6/5(金) 材料力学	力の釣合方程式、自由体線図、応力・ひずみ、安全率、モールの応力円、曲げ・せん断力図
		2	6/12(金) 流体力学	圧力・静水圧、連続式・ベルヌーイ式、管路流れ、運動量の法則
		3	6/19(金) 熱力学	熱力学第一・第二法則、理想気体、蒸気、理論サイクル
		4	6/25(木) 機械力学	力学の復習、微分方程式の解法、自由振動(減衰有無)
		5	7/3(金) 機械材料	金属材料の物理的・機械的性質
		6	7/10(金) 機械製図①	図形表現、文字・線、投影図の描き方
		7	7/17(金) 機械製図②	寸法記入法、公差、表面形状
		8	7/24(金) 機械製図③	仕上げ・機械加工、図面基準面

●定員：各コース合わせて30名

●受講料会員企業：スタンダード66,000円、エキスパート85,800円 ※税・テキスト代込み

6/5(金)
より開講

技術者リーダー育成コース | 神戸教室

【研修時間】9:30～16:30

- 専門力からマネジメント力へ、次世代技術者リーダーを育成

神戸教室 研修時間：6日間・計36時間

No.	日付	科目	内容
1	6/5(金)	技術者として成長するには	講義：成長の考え方討議：課題抽出と対応策検討
2	7/1(水)	課題発見と課題解決法	問題の捉え方、解決手法、問題解決技法
3	7/31(金)	モチベーションを高める	自身・組織のモチベーション向上、要因分析
4	9/11(金)	チームリーダーとして活躍する	リーダーの役割、信頼される上司、チームワーク、PDCA
5	10/2(金)	部下育成と技術伝承	技術伝承、論理的思考、人材育成、ワークショップ
6	11/5(木)	マネジメント力を高める	マネジメント力理解、必要要件認識、職場問題分析・討議

●定員：20名 ●受講料会員企業：73,000円 ※税・テキスト代込み

1. 中堅等大規模成長投資補助金

中堅・中小・スタートアップ企業が、持続的な賃上げを目的として、足下の人手不足に対応した省力化等による労働生産性の抜本的な向上と事業規模の拡大を図るために行う工場等の拠点新設や大規模な設備投資を支援します。

項目	内容
1 予算額	総額2,000億円
2 補助上限額	50億円（補助率1/3以下）
3 補助事業期間	原則として、交付決定日から最長で令和10年12月末まで
4 補助対象者	中堅・中小・スタートアップ企業（常時使用する従業員数が2,000人以下の会社等）※単体ベース ※一定の要件を満たす場合、中堅・中小企業を中心とした共同申請（コンソーシアム形式：最大10社）も対象。 ※みなし大企業や実施する補助事業の内容が農作物の生産自体に関するものなど1次産業を主たる事業としている場合は補助対象外。
5 補助事業の要件	①投資額20億円以上（専門家経費・外注費を除く補助対象経費分） ※100億宣言企業は投資額15億円以上 ②賃上げ要件（補助事業の終了後3年間の対象事業に関わる従業員等1人当たり給与支給総額の年平均上昇率が5.0%以上（100億宣言企業は4.5%以上）） ※持続的な賃上げを実現するため、補助金の申請時に掲げた賃上げ目標を達成できなかった場合、未達成率に応じて補助金の返還を求める（天災など事業者の責めに帰さない理由がある場合を除く。事業者名は公表しない。）
6 補助対象経費	建物費（拠点新設・増築等※）、機械装置費（器具・備品費含む）、ソフトウェア費、外注費、専門家経費 ※本社機能の一部移転・新設を含む


2. 中小企業成長加速化補助金

賃上げへの貢献、輸出による外需獲得、域内の仕入による地域経済への波及効果が大きい売上高100億円超を目指す中小企業の大胆な投資を支援します。

項目	内容
1 上限額	5億円（補助率1/2）
2 事業期間	交付決定日から24ヶ月以内
3 対象者	売上高100億円を目指す中小企業 （売上高が10億円以上100億円未満）
4 要件	・「100億宣言」を行っていること ・投資額1億円以上 ・一定の賃上げ要件※を満たす今後5年程度の事業計画 ※1人当たり給与支給総額4.5%以上
5 対象経費	建物費、機械装置費、ソフトウェア費、外注費等

※「100億宣言」について


中小企業の経営者自らが「売上高100億円」という野心的な目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを宣言するもので、以下のように「100億企業成長ポータル」に、当該宣言を掲載しています。




100億宣言

株式会社 百億電機（製造業）

例




百億電機



主力商品 家電製造

- 本社所在地：大阪府大阪市XX区
- 事業概要：大手家電メーカーのOEM製造およびスマート家電の自社製品の製造・販売
- 常時使用する従業員：54名（2025年3月時点）
- 現在の売上高：60億円（2025年3月期）
- 法人番号：11111111111111
- Web：https://○○

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ




豊かなカーボンニュートラル社会の実現

百億電機は家電を通じ、ヒトの意図を察して家電が便利に連携する豊かな暮らしを実現し、出力やOn/Offをコントロールすることで社会全体が無理なくカーボンニュートラルに向かう世界を目指します。工場の環境整備や従業員の待遇改善に投資していくことで、仲間である社員を大事にしながらビジョンを達成したいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高達成に向け、OEM製造の堅実な成長とともに、自社製品販売で年率20%程度の成長を目指す。



2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034

課題

- ・デザイン性の高い自社企画製品の設計・生産
- ・スマートホーム標準規格への準拠や連携機能の強化に向けたシステム開発力の強化
- ・海外、特に韓国/台湾エリアの市場開拓

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・企業におけるUXデザインやサービスデザイン手法の導入
- ・設備投資による自社企画製品の製造ライン拡大
- ・スマートホーム関連開発の加速化
- ・韓国/台湾への展示会出張や卸との協業による販売先開拓

実施体制

- ・社長直轄でのUX部署、ソフトウェア部署の立ち上げと、部長級人材を新規に雇用（26年内目標）
- ・東南アジア向け基礎SOC企業やシェアゲテックを活用した海外販売パートナーシップの拡大
- ・深堀への新たなR&Dや製造体制の立ち上げ

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです。

3. 大胆な投資促進税制の創設（新設）

国内投資の拡大を通じて、日本企業の「稼ぐ力」を向上させ、賃上げを含めた好循環を形成するため、高付加価値化のための**大胆な設備投資を促進する税制（建物を含む即時償却や税額控除7%等）**を創設します。

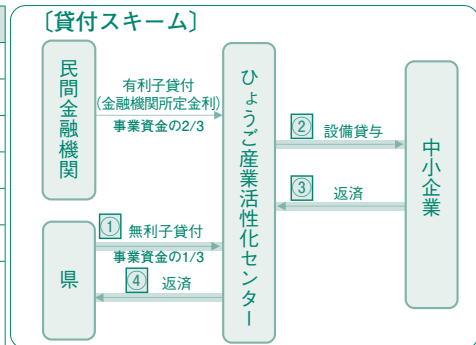
■概要

対象業種	原則全ての業種を対象
対象資産要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生産等に必要の設備等（機械装置、器具備品、工具、建物、構築物、建物附属設備、ソフトウェア）</u> ・ <u>投資下限額：35億円以上（中小企業者等については5億円以上）</u> <li style="padding-left: 20px;">※投資計画期間中の総額 ・ <u>ROI水準：15%以上</u>
措置内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>即時償却または税額控除7%（建物、建物附属設備及び構築物は税額控除4%）</u> ➢控除上限：法人税額の20% ・ <u>事業環境の急激な変化による影響への対応（繰越税額控除）</u> ➢予見し難い国際経済事情の急激な変化に対応するための計画について、法律に基づく認定を受けた事業者については、<u>繰越税額控除（3年間）が可能。</u>
措置期間	令和11年3月31日までの間に設備投資計画につき、法律に基づく確認を受けた者が、その確認を受けた日から5年を経過する日までの間に取得等をし、 <u>事業の用に供した設備等を対象。</u>

■GX・DX促進設備導入推進事業

新たな設備貸与事業を通じて、エネルギー構造転換対策のGX（省エネを含む）、人手不足対策としてのDX等、中小企業の生産性向上や製品の付加価値向上を目的とする設備投資を促進

区 分	GX・DX促進設備導入推進事業
対 象 者	従業員300人以下の県内中小企業
資 金 使 途	GX・DX等生産性の向上に資する新品の設備
貸 与 額	500万円～2億円
料 率	割賦：年利 1.5～2.75%
貸 与 期 間	3～10年（設備の法定耐用年数以内）
保 証 人・担 保	原則不要（法人の場合は代表者保証が必要）
貸 与 目 標 額 （貸 与 原 資）	6億円 （県が1/3を活性化センターに貸付け、 残額をセンターが金融機関から借入れ）



担当課：産業労働部地域経済課設備資金班 連絡先：078-362-9162（内線74049）

■稼ぐ力の強化に向けた設備投資支援事業

収益力向上に資する設備投資により、企業における持続的な賃上げ環境の整備を促進

区 分	稼ぐ力の強化に向けた設備投資支援事業
実 施 内 容	売上の向上につながる設備導入等に対して支援 （生産力の強化や商品の差別化・ブランド化、販売チャネルの拡大等）
補 助 対 象 者	商工会・商工会議所が実施するチーム型伴走指導の結果、設備導入等により、 長期的な収益力の向上が強く見込まれ、賃上げが促進されると認められる者
補 助 率 等	中小企業1/2、小規模事業者2/3
補 助 上 限	5,000千円

■事業イメージ



担当課：産業労働部地域経済課経営支援班 連絡先：078-362-3313（内線74032）

■中小企業海外展開総合支援促進事業

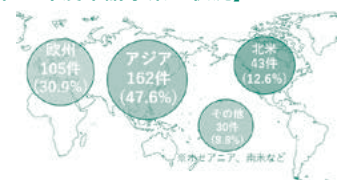
米国の関税措置など経済情勢の急激な変化への対応や、海外進出先の多角化による経営強強化の必要性から、企業の海外展開ニーズが高まる

海外での販路開拓や拠点設立、新たな事業展開のための現地調査等に取り組む企業の支援を強化（補助件数を拡充）

【実施内容】

項目	内容	助成率 (上限)	件数
現地渡航調査	販路開拓、生産・営業拠点設立、生産委託先確保などに向けての現地商談、現地見本市・展示会出席等	1/2以内 (100万円)	15件 →15件
海外新展開	同上（サプライチェーンの再構築や、新たに取り組む事業展開に関するものに限る）		15件 →30件
越境EC	越境ECモール出店、越境ECサイト開設による販路開拓事業	1/2以内 (50万円)	10件 →10件

【令和7年度申請事業の状況】



■申請企業の特徴

- ・アジア、欧州が約8割を占める
- ・製造業関連企業からの申請が約6割
- ・販路開拓が約8割を占める

担当課：産業労働部国際課経済交流班 連絡先：078-362-3328（内線74174）

■奨学金返済支援制度

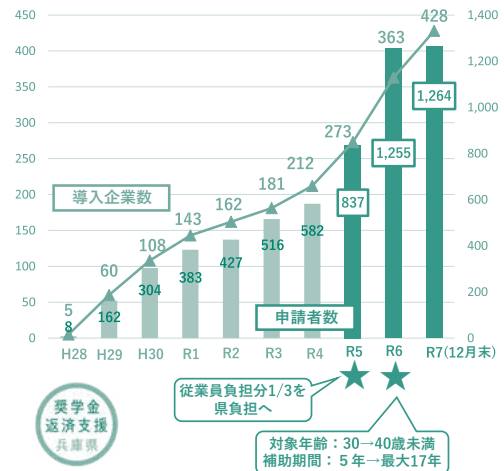
若者の県内就職・定着を促進するため、従業員の奨学金返済負担軽減を行う中小企業等に対して、費用の一部を支援

- 補助対象：40歳未満
- 補助額：年間返済額の2/3（上限12万）
- 補助額：年間返済額の2/3（上限12万円）

県 2/3 企業 1/3

- 補助期間：最大17年間
※企業の県認定制度取得状況により期間が異なる。
詳細は下表のとおり

補助期間	対象企業
5年	県内に本社がある中小企業
10年	以下のうち2つに該当 ①SDGs宣言企業 ②フレッシュミモザ企業 ③ワーク・ライフ・バランス宣言企業
17年	以下のうち2つに該当 ①SDGs認証企業 ②ミモザ企業 ③ワーク・ライフ・バランス認定企業 又は表彰企業



担当課：産業労働部労政福祉課雇用就労班雇用・就業支援担当 連絡先：078-362-3227（内線74131）

■ひょうごグローバル人材活躍企業認定事業

地域社会で暮らす外国人労働者等が増えるなか、すべての人が安心して暮らし活躍できる多文化共生社会の実現に向けて、外国人が安心して就職し定着できるよう、働く環境が整った企業を認定する外国人雇用に関する企業認定制度を運用し支援

区分		内容
制度運営	認定制度	外国人材を雇用する県内企業等の取り組みをチェックリスト方式で見える化し、認定審査会を経て認定（認定要件：チェックリスト18項目中15項目以上実施）
	宣言制度	外国人材の採用・定着を目指す県内企業を宣言企業として県が登録し、認定取得をサポート（登録要件：チェックリスト18項目中15項目以上宣言）
【拡】セミナーの開催		<ul style="list-style-type: none"> ・広報セミナー（対象：申請予定企業） 認定制度及び宣言制度への参加を促進 ・フォローアップセミナー（対象：認定企業）【新】 労働関係等に係る法令改正のほか、外国人雇用に関する優良な取組等を紹介 ・サポートセミナー（対象：宣言企業）【新】 認定に向けて、他企業による具体的な取組等を紹介
【新】専門家相談窓口		内容：在留資格、外国人雇用制度、人事労務管理上の留意点の相談・助言 対象：宣言企業（3回/社）

担当課：産業労働部能力開発課人材育成班 連絡先：078-362-9183（内線74135）

■多様な働き方推進支援事業

女性専用更衣室、高齢者用の手すりや託児スペース、テレワークシステムなど職場環境の整備費用等を助成し、中小企業の多様な働き方を推進

区分	育児・介護代替要員確保助成コース	働き方改革助成コース
対象事業主	・常時雇用労働者が300人以下 ・ひょうご仕事と生活の調和推進宣言企業（WLB宣言登録）	・常時雇用労働者が100人以下の県内事業所
対象経費	労働者（同一企業等に1年以上勤務）の育児・介護休業又は育児・介護による短時間勤務に対し、代替要員を新たに雇用した場合の賃金	①女性、高齢者等の様々な人材の職域拡大のための環境整備に係る費用 ・女性専用のトイレ、更衣室、託児スペース 等 ②テレワーク推進に係る費用 【拡】・テレワーク用PC・タブレット購入費 ・Wi-Fi設備購入費、ネットワーク構築等初期費用 ・人事・労務管理ソフトの導入費用 等
助成金額	①育児休業メニュー ・休業者の代替要員賃金の1/2 ・上限：月額100千円、総額1,000千円 ②短時間勤務メニュー ・短時間分の代替要員賃金の1/2 ・上限：育児理由 月額 25千円 介護理由 月額 100千円 総額1,000千円	・対象経費の1/2 ・上限：2,000千円

担当課：産業労働部労政福祉課勤労者福祉班 連絡先：078-362-3362（内線74125）

1 神戸市中小企業投資促進等助成

2026年4月中旬頃 募集予定

技術力・生産性の向上や受注拡大などに向けた積極的な設備投資等を支援します。特に、サプライチェーン強靱化のための海外生産拠点の神戸市内への移転、戦略産業分野（「航空・宇宙」「医療・健康・福祉」「農業・食糧」「環境・エネルギー」）での事業展開に必要な設備投資、及び生産性を向上させるために必要なIoT・AI・ロボットの導入について重点的な助成を行います。また、従前に比べCO2排出量が15%以上削減される設備の場合、一部の助成対象事業について、補助率の上乗せを行います。

併せて、航空宇宙分野など成長分野に参入する上で必要となる国際的な品質管理規格の認証取得や、生産現場へのロボット導入を促進するためのシステムインテグレータによるロボット導入に向けたシミュレーション、ロボット導入に大きな役割を担うシステムインテグレータを育成するための設備取得に係る費用についても助成します。

助成対象事業	①設備投資または新增設				
	海外生産拠点の神戸市内移転	戦略産業分野	IoT・AI・ロボット	女性雇用促進施設、外国人雇用にかかる施設	一般
対象事業費	1,000万円以上	1,000万円以上 ^(※)	100万円以上	50万円以上	1,000万円以上 ^(※)
助成率	通常	1/2以内	1/3以内	1/3以内	10%以内
	CO2排出量15%以上削減	上乗せなし	1/2以内	上乗せなし	15%以内
助成限度額	3,000万円		1,000万円		500万円

助成対象事業	②専門分野における国際的品質マネジメントシステム規格（JISQ9100等）の認証取得	③生産現場へのロボット導入に向けたシミュレーション	④ロボットシステムインテグレータ育成のための設備取得
対象事業費	—	—	—
助成率	1/3以内	1/3以内	1/3以内
助成限度額	100万円	50万円	500万円

※小規模企業者（従業員20名以下）による設備投資等については100万円以上

2 神戸挑戦企業等支援補助

2026年5月頃 募集予定

戦略産業分野（上記1と同じ）での試作開発や新規開発の取組みを支援します。また、大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、社会課題の解決につながる革新的な開発についても支援対象とします。併せて、下記「神戸市が定める特定のテーマとして（▲カーボンニュートラル）をテーマとする研究・開発」については、補助率・補助金額の上乗せを行います。

補助対象枠	単独枠		コンソーシアム枠	
	補助率	金額	補助率	金額
戦略産業分野における試作開発・新規開発	1/2	単年事業：150万円	1/2	単年事業：400万円 2か年事業：600万円
神戸市が定める特定のテーマに関する研究・開発（▲）		設定なし	2/3	単年事業：500万円 2か年事業：750万円
産学連携による社会的課題の解決につながる開発		設定なし	1/2	単年事業：400万円 2か年事業：600万円

3 省力化を促進する製品の研究・開発・実証補助金

2026年4月下旬頃 募集予定

幅広い業種や事業の業務の省力化につながる製品の研究・開発・実証にかかる費用を支援します。また神戸市内企業が幹事となって構成され、構成企業のうち2分の1以上が神戸市内企業であるコンソーシアムについても支援対象とします。

助成対象事業	①実用化に向けた「省力化を促進する製品」の研究・開発 ②新規開発した「省力化を促進する製品」の実証
対象事業費	研究・開発・実証にかかる経費（原材料費、外注加工費、直接人件費、ほか） ※大企業については外注費のうちの1/2以上を市内企業へ発注することが要件となります。
助成率	1/2以内
助成限度額	5,000万円

上記の内容は変更される可能性があります。それぞれの公募要領をご確認ください。

問合せ先：神戸市 経済観光局 ものづくり産業課 TEL (078) 984-0340

神戸市 HP：ものづくり中小企業支援

<https://www.city.kobe.lg.jp/a93457/business/sangyoshinko/shokogyo/venture/monodukuri/index.html>

合同委員会

兵庫工業会には、以下に示す4つの委員会があり、それぞれの委員会において各種事業の計画やフォローがなされています。また、それぞれの委員会の委員長には副会長が就くことにより、運営情報の共有化も図っております。

- ・人材育成委員会（岡田委員長／副会長）
- ・産業振興委員会（吉井委員長／副会長）
- ・シン・ものづくり委員会（金井委員長／副会長）
- ・会員交流委員会（藤嶋委員長／副会長）

委員会は、議案審議はもとより、審議等を通じて委員同士が知り合える場ともなっています。それを拡大したものが合同委員会であり、年に一度、全ての委員会の委員の皆様にお集まりいただき、議案審議と共に委員会を超えた交流をはかっていただいております。

今年度の合同委員会は、2月18日(水)、神戸国際会館セミナーハウスにて開催いたしました。まず、委員会毎に、所掌していただいている事業の「2026年度事業計画」ほかをご審議いただきました。議案審議後は一堂に会して、各委員会の委員長より各々の所掌事業の次年度計画の概要を紹介していただき、引き続き「兵庫県産業労働部 令和8年度主要施策」について、兵庫県産業労働部 地域産業立地課ものづくり支援班の井上班長よりご講話いただきました。

その後、同じく国際会館内の維新號點心茶室に場所を移して懇親会が開かれ、合同委員会開催の主旨でもある委員同士の交流を、一層深めることができました。

お忙しい中、ご出席いただきました委員の皆様には、本紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。



講話の様子

近畿経済産業局との意見交換会 ご報告

行政施策に産業界の声を反映するとともに、当会事業への積極的な支援・協力をいただくことを目的として、行政との意見交換を定期的実施しております。

このたび、3月6日(金)に近畿経済産業局（以下「近経局」）との意見交換会を開催いたしました。近経局から谷原産業部長をはじめ計13名、兵庫工業会から正副会長をはじめ計13名が出席し、2時間を超えての活発な意見交換が行われました。

まず近経局から、中小企業の生産性向上や賃上げを後押しするための多種多様な補助金制度に加え、物流の効率化、海外展開支援や経済安全保障など各種施策についてご説明いただき、続いて兵庫工業会より、人口減少、若年層の定着の難しさ、理系人材の不足、デジタル・AIによる社会構造の急激な変化など、複合的な構造課題である「人材難」に積極的に対応する兵庫工業会の事業について紹介を行いました。

また、会員企業からは、価格転嫁の難しさや地方における若手人材の採用の厳しさなど、現場の切実な状況が報告されました。

双方にとって貴重な意見交換の機会となり、産官の意思疎通の重要性を改めて認識するとともに、今後も継続して開催していくことを確認し、会を締めくくりました。



意見交換会の様子

国内技術見学会 ダイキン工業株式会社 堺製作所 臨海工場見学会 ご報告

3月9日(月)、最先端の省エネ技術とIoTを駆使した「次世代型ものづくり」の最前線を視察するため、堺市にあるダイキン工業(株)堺製作所臨海工場」見学会を実施いたしました。

今回は、会員企業であるダイキンエアテクノ(株)に、多大なるご協力を賜り、29名の参加者を受け入れていただき開催いたしました。

まず、会社概要および新工場の概要について、ビデオ等を交えてご説明いただきました。特に、IoTを活用した自社工場の空調機稼働分析により、現場のムダを徹底的に排除し、省エネやリードタイムの短縮を実現している点や、季節や日々の稼働状況に応じた「タスク&アンビエント空調」には大変感銘を受けました。

その後、空調製品ショールームでは、プロジェクションマッピングを用いた最新の展示をご案内いただいたほか、実際の生産ライン（1号・2号工場）における空調マネジメント実施例の様子も伺いました。また、工場見学では、重要部品（Key Device）を自社で高品質・高効率に製造するための「キーデバイス工法」の考え方や、重力やてこを活用した「からくり改善」などのアナログな工夫も随所に見られ、多くの技術的知見を得ることができました。

更に、既存工場において初期投資を抑えつつ脱炭素化も推進する「AaaS（定額制空調サービス）」等の新たなビジネスモデルについても学ぶことができました。

見学会全般を通じて、ダイキン工業(株)およびダイキンエアテクノ(株)の関係各部署の連携の良さなど、強いチームワークを感じました。見学後の懇親会においても、専門的かつ有意義な意見交換を行うことができました。

今回の見学会を通じて、現場の創意工夫や安全管理、最新技術の導入、さらには空調機器メーカーならではの新規ビジネス創出など「次世代のものづくり企業のあるべき姿」について、多くを学ぶことができました。



ダイキン工業(株)堺製作所 臨海工場にて

会員交流見学会 ご報告

会員交流見学会は、見聞を広め会員相互の交流を深めることを目的として、毎年実施しております。

今年は「技術と歴史、そして宇宙へ。南国の地で、未来を語る2日間」をテーマに、2月26日(木)～27日(金)の1泊2日で、藤嶋副会長、金井副会長、岡田副会長の3副会長をはじめ、参加者22名にて、鹿児島を訪れました。

1日目は仙巖園、三州産業㈱、知覧特攻平和会館を見学、あわせて交流懇親会を開催し、大いに交流を深めました。

2日目は種子島宇宙センターを見学する予定でしたが、種子島への飛行機が欠航したため、桜島、維新ふるさと館を見学しました。

☆仙巖園

万治元年(1658年)に築かれた島津家の別邸、仙巖園では世界遺産でもある旧集成館反射炉跡を見学し、大砲鑄造のための当時の責任者の技術習得への緊張感が感じられました。また、篤姫や西郷隆盛も訪れたという「御殿」の精巧な装飾とその威容は、まさに大名家の贅沢な空間であり、実物に接することのできる幸せを感じました。



仙巖園見学の様子

☆三州産業㈱

会社説明では、島津氏の三州統一の話など薩摩・鹿児島県の歴史を交えて、葉タバコの乾燥機メーカーとして創業されてからの約80年の歩みをお聞かせいただきました。また、その歴史の重みは講堂に掲げられている歴代社長の肖像写真に表れており、過去の社長のエピソードもご披露いただきました。

工場見学では、施設園芸の暖房機、食品乾燥機の実機をはじめ、高度な熱処理技術や製造工程を説明いただきました。さらに、会社説明の折、製造されている食品乾燥機で乾燥させた干し芋を賞味させていただきました。



三州産業㈱にて

☆知覧特攻平和会館

遺影1,036柱と、約6,000点もの遺書や遺品が並び、若き特攻隊員たちの最期の言葉に胸が締め付けられました。また、松林の中に復元された「三角兵舎」は、出撃前夜に裸電球の下で別れの手紙を書かれた、当時の空間が再現されておりました。また、重要航空遺産である陸軍戦闘機「疾風」や、海底から引き揚げられた「零戦」の痛々しい姿は、当時の過酷な戦況を今に伝えており、歴史と向き合う厳かなひとときとなりました。



知覧特攻平和会館にて

☆桜島：有村溶岩展望所

かなり雨脚の強い中、桜島の南岳麓の有村溶岩展望所を見学しました。1946年の溶岩原に位置する展望スポットです。活火山である桜島の山頂を最も近くから仰ぎ見ることができる場所で、一面に広がる溶岩原とともに、その迫力に圧倒されました。



桜島有村溶岩展望所にて

☆維新ふるさと館

西郷隆盛や大久保利通を輩出した加治屋町に建つ「維新ふるさと館」では、地下ホールで上映されるドラマ「薩摩スチューデント、西へ」を観覧することができました。薩摩藩が鎖国時代にいち早く海外に目を向け、英国へ留学生を派遣した様子がダイナミックに再現されていました。

館内には篤姫のコーナーや、日の丸・君が代のルーツを辿る展示、薩摩独自の「郷中教育」の紹介もあり、画像や最新の技術を駆使した展示に興味がありませんでした。世界を見据えた薩摩の先人たちの志に触れ、日本の夜明けを深く学べる充実した見学ができました。

創立40周年記念事業

HYOGOものづくりビジネススクール 活動報告

「経営を“自分ごと”にする6か月」

企業を変えるのは、新しい設備でも制度でもありません。

最初の一步は、「経営を自分ごととして考える人材」が生まれることです。

兵庫工業会創立40周年事業として開催した「HYOGOものづくりビジネススクール」では、中小製造業の中核人材が集い、アカウンティング、経営戦略、そして自社の未来について、真剣な議論を重ねました。

第1回「経営とは」 講師：HYOGOものづくりビジネススクール コーディネーター

瓶内 栄作氏（芸術文化観光専門職大学 准教授）

「経営とは何か」をテーマに、物事をどの立場から見ると（視座）の重要性について学びました。企業活動は、経営者・管理職・従業員といった立場によって見える景色が異なります。特に経営者には、組織を管理し成果を生み出すマネージャー（上級管理職）としての役割と、新たな事業や価値を創出するアントレプレナー（事業創出者）としての役割という二つの側面が求められます。受講生は、自らの立場を見つめ直しながら、経営を多面的に捉える視点の重要性を学びました。

第2回・第3回「アカウンティング・ファイナンス」 講師：インテグラス(株) 代表取締役 諸橋 清貴氏

「アカウンティング・ファイナンス」をテーマに、財務三表の読み方や計数管理の基本を学びました。数字は単なる結果ではなく、経営判断のための重要な言語です。参加者は、自社や他社の財務データを読み解きながら、利益構造や資産効率を理解し、数字をもとに考える経営の視点を身につけました。

第4回・第5回「経営戦略」 講師：神戸大学大学院 経営学研究科 教授 吉村 典久氏

「経営戦略」をテーマに、企業戦略と事業戦略の考え方を学び、自社の事業コンセプトを見つめ直しました。顧客（WHO）、提供価値（WHAT）、仕組み（HOW）の視点から自社事業を整理し、異業種の事例なども参考にしながら、どのように競争優位を築くのかを議論。受講生同士が率直に意見を交わし、自社の強みや可能性を掘り下げる活発なディスカッションが行われました。

第6回「成果発表と講演」 講師：兵庫工業会 会長 三宅 俊也氏

最終回では、これまでの学びを踏まえ「自社課題に対する戦略提案」をテーマに成果発表を実施。各受講生がこれまでスクールで学んだことをふまえ自社の現状を分析し、今後取り組むべき方向性やアクションプランを提示しました。発表後には講師や参加者から多くの助言が寄せられ、会場では実践につながる議論が交わされました。

受講生からは

「回を重ねるごとに理解が深まり、経営を違う角度から捉えられるようになった」

「他社の視点や経営者からの指摘が、自分の考えを整理する大きな刺激になった」

「財務データから経営状況を読み取る力が向上した」

「自社の価値を改めて見つめ直すことができた」

といった声が寄せられ、実務に直結する学びの機会として高い評価を得ました。

企業を変える第一歩は、リーダー自身が経営を深く理解し、自ら考え行動することです。本スクールは、知識の習得にとどまらず、自社の未来を真剣に考える“経営の対話の場”として開催されています。

なお、本スクールは2026年度も開催を予定しております。

兵庫のものづくりの未来を担う人材の挑戦を、ぜひ本スクールで始めてみてください。多くの企業の皆様のご参加をお待ちしております。



講演の様子

第22回兵庫工業会 ゴルフ大会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会の第22回ゴルフ大会を下記の通り開催いたしますので、ご予定の程よろしくお願ひ申し上げます。

☆開催日時 2026年5月9日(土) (9:12スタート)

☆開催場所 小野東洋ゴルフ倶楽部

〒675-1315 小野市日吉町570-1 TEL: 0794-62-6881

☆参加費 6,000円

※その他 プレーフィー 29,080円は、各自でゴルフ場にお支払い下さい。

(ビジター料金税込、キャディ付き、食事・ドリンク代等個人的経費は別途必要となります。)

お申込みはこちら
兵庫工業会ホームページ





ラッキーベル株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町4-3-1
TEL : 078-621-5331 / FAX : 078-621-5373
URL : <https://www.luckybell.co.jp/>
代表取締役社長：有吉 譲治

当社は1961年、ベルマークの付いた上履きを全国の学校に普及することを目的に設立されました。まず目指したのは子供たちの健全な成長です。当時主流だった上履きは、通気性のないビニール生地製で、甲に一本バンドが付いたバレエシューズ型でした。そこに、通気性に優れ、運動しても脱げない、甲に三角形のゴムの付いた上履きを開発し、特許を取得しました。もう一つの柱が、当社設立前年の1960年に始まったベルマーク運動です。ベルマークは集めれば学校設備が買えるだけでなく、その10%が僻地や被災地の支援にあてられます。そんなベルマークの「すべての子どもに等しく豊かな環境のなかで教育を」という理念に賛同し、子供たちの心と身体の健全な成長に貢献すべく、ベルマークの付いた成長に良い上履きを製品化しました。そして、子供たちが学校で長時間履く上履きは「教材」であり、適した製品を学校が指定すべきである、との考えの下、日本全国の学校に「学校指定靴」という文化が普及しました。現在も北海道から沖縄まで多くの学校で指定靴として採用して頂いています。



三角ゴムの上履き「カラー2号」

当社にとって最も大きな外部環境の変化は少子化です。日本の在学者数（幼小中高）は1985年の2,450万人から2023年には1,410万人へと減少しました。学校指定靴が主力の当社にとって売上に直結する大きな課題です。そのような変化に備え、2003年、子供と同じく足、歩くことが大切な高齢者に向けた介護シューズを製品化し、新市場へ参入しました。さらに2008年にドイツ整形靴マイスターと協働し、日本人のためのコンフォートシューズを製品化しました。こちらは高齢者に限らず、足に悩みを持つ方、快適に歩きたい方のための靴で、悩みに合わせて店頭で加工調整することも可能です。「この靴しか履けない」、「この靴に出会って歩けるようになった」という嬉しい声も多くいただきます。現在、靴の販売店は大型チェーン店が多くを占めるようになり、小さな小売店の経営が難しくなっています。しかし自分の足を正しく理解している人は多くありません。専門知識を持って足を見てくれて、自分の足について知ったうえで最適な靴を購入できる販売店は重要な存在です。そのような足と靴の専門知識を持つ販売店を増やし、ともに成長することを当社は目指しています。そのために自らも小売店としての知見を獲得すべく2021年に直営店の運営を開始しました。また日本製の足に良い靴を海外にも広めるべく2018年から香港、台湾などへの輸出も開始しました。



直営店「コウベマリ」
(元町商店街6丁目)

このコンフォートシューズは神戸市長田区で製造しています。神戸の地場産業である長田の靴製造業は阪神淡路大震災で壊滅的な被害を受けました。その後も、安価な輸入品やスニーカーブームに押され、長田の靴生産数は1984年の4,700万足から2024年には700万足まで減少するなど厳しい状況が続いています。当社も設立以来、長田で上履きを製造していましたが、震災を機に撤退せざるを得ませんでした。しかしコンフォートシューズ事業を始めたことで長田での製造を再開することができました。今後も長田製の高品質な靴を日本、世界に発信することで、長田の靴産業に微力ながらも貢献できることを目指しています。

靴は身近でありふれたものですが、誰もが毎日履くものであるからこそイノベーションの種がたくさんあります。デジタルと組み合わせて、成長や健康を管理する、子どもや高齢者の安全を守る。大量に消費、廃棄されるがゆえに環境に貢献できる余地がある。そのような挑戦は当社だけでは難しいため、大学や高専、他社との共創にも積極的にチャレンジしています。当社のミッションである「心と身体の健康に貢献するモノを創り、文化を創る」を果たし続けるべく、靴から始まる挑戦を続けて参ります。



NECと取り組んだ歩行分析センサー内蔵上履きの共創プロジェクト

「しんゆう会」視察会 ご報告

3月13日(金)、しんゆう会主催の視察会を開催し、洋上風力発電に用いられるオフショアチェーンや船舶用チェーンを製造する濱中製鎖工業(株)網干工場と、コンプレッサーに用いられるローターの製造や、精密部品加工に取り組まれている(株)井上鉄工所を訪問しました。

濱中製鎖工業(株)では、ハリケーンでも破断が許されない世界トップレベルの強度に対応するため、独自のノウハウで溶接や焼き入れ/焼き戻しを行っている現場を間近で見学させていただき、スケールの大きさに驚かされました。

(株)井上鉄工所では、1000分の1ミリの精度が求められる中、最新鋭の設備を導入されつつ、品質にこだわり続ける現場と、ひとづくり(人材育成)やオープンガーデン・お祭りへの協賛などの地域貢献に力を注がれている姿勢を学ばせていただきました。

寒さが残る気候でしたが、ものづくりに注ぐ熱い情熱に触れることができた1日となりました。



濱中製鎖工業(株)にて



(株)井上鉄工所にて

新メンバー紹介

4月より着任

- 氏名/岡 良祐
- 星座/山羊座
- 血液型/B型
- 趣味/温泉巡り、野球観戦

■抱負

好きな言葉は「一隅を照らす」。
これからも人との出会いを大切にしながら、微力ではございますが、自分の持ち場で最善を尽くし一所懸命に努めてまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



会員動向

代表者登録変更

会員名	新登録者	旧登録者	変更月
(株)竹中工務店 神戸支店	支店長 平尾 克之	高倉 通	2026年3月

代表者役職変更

会員名	新役職	旧役職	変更月
宮脇機械プラント(株)	最高顧問 宮脇 隆一郎	取締役会長	2026年1月

会員登録名変更

新会員名	旧会員名	変更月
(株)TEIKOKU	(株)帝国電機製作所	2026年4月
三菱電機インフラテクニカ(株)	菱神テクニカ(株)	2026年4月
播磨経営者協会	姫路経営者協会	2026年4月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
5月9日(土)	ゴルフ大会	小野東洋ゴルフ倶楽部
5月28日(木)	第67回通常総会	ホテルオークラ神戸

公式SNSで情報発信中！

ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram →



兵庫工業会HP →



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231